

平成30年6月30日

皆様

東京都立町田高等学校
久世 哲也

平成30年度 都倫研 夏の読書会のご案内

表題の件につきまして、下記の通り、次回読書会に関して、テキスト等を、ご案内させていただきます。

記

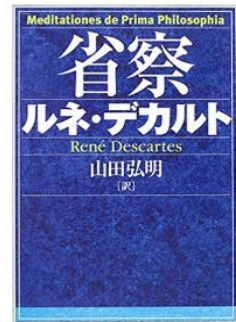
1. 日時及び場所: **平成30年8月24日(金) 13:30～15:10**
於 首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス
※都倫研夏季研究協議会全体は17:30終了予定

2. テキスト: **『省察』山田弘明訳(ちくま学芸文庫) 2006年**
※内容 ※画像

近代哲学の父にして偉大な数学・物理学者でもあったデカルトが、『方法序説』の刊行後、形而上学にかかわる思索のすべてを、より精密に本書で展開。ここでは、一人称による六日間の省察という形式をとり、徹底した懐疑の積み重ねから、確実なる知識を探り、神の存在と心身の区別を証明しようとする。この著作は、その後、今日まで連なる哲学と科学の流れの出発点となった。初めて読むのに最適な哲学書として、かならず名前を挙げられる古典の新訳。全デカルト・テキストとの関連を総覧できる註解と総索引を完備。これ以上なく平明で精緻な解説を付した決定版。

(本内容は、amazonより引用:

<https://www.amazon.co.jp/%E7%9C%81%E5%AF%9F-%E3%81%A1%E3%81%8F%E3%81%BE%E5%AD%A6%E8%>



3. 参考資料:

著作名	著者	出版社名
『デカルト形而上学の成立』	村上 勝三	講談社学術文庫
『新デカルト的省察』	村上 勝三	知泉書館
『デカルトの「観念」論—『省察』読解入門』	福居 純	知泉書館
『デカルトの誤謬論と自由』	福居 純	知泉書館
『デカルト『省察』訳解』	所 雄章	岩波書店
『デカルト『省察』の研究』	山田 弘明	創文社

以上